

夫婦でもお互いに見えていない部分があるから、

「こうしてほしい」という思いを伝え合うことが大切。

自分たちにとってちょうどいい塩梅あんばいを探しながら、

家事も育児も柔軟にシェアしていきたいです。

分のことだけなの？なぜ手
伝ってくれないの？」と夫を
責めてしまったことも。この

ままではまずいと思い、2人
目を生む前に話し合いをし
ました。そこで、私がやってい
ることを全部書きだして夫に
渡したのです。家事・育児を「見
える化」し、平等に役割分担
をしたいと考えてのことです。

すると、夫も実はお風呂
やトイレの掃除をしてしてく
れたことがわかりました。ま
た、夫が「これからは父親と
して、もっと頑張っって働いて
家族を支えるんだ」という気
持ちで仕事に打ち込んでいた
ことも知りました。夫婦でも
お互い見えていない部分があ
るし、言葉で伝えないと気づ
けないこともある…。それ以
後は、自分たちにとって、ちょ

うどいい塩梅あんばいを一緒に模索し
ながら、家事・育児をシェア
するようになりました。

現在、娘を保育園に送るの
は夫の担当ですが、私の方が
余裕のある時は代わったりし
て、臨機応変に動いています。
あとは、お互いにスケジュー
ルなどをこまめにシェアする
ようにしています。

**子育てをする中で大切な
ことは何でしょうか？**

夫とのコミュニケーション
ですかね。そこが円滑になっ
たことで、2人目の時は心身
ともに余裕がありました。完
璧じゃなくてOKなんだと思
えるようになり、今は仕事も
家庭も「良い加減」です。例
えば、私の仕事は基本的に9

時〜18時ですが、遅い時間の
仕事を引き受けた場合もあ
ります。そんな時は、夫や親、
お互い子どもを預け合えるよ
うな仲の良い友人たちに娘た
ちのお世話をお願いしていま
す。もちろん、誰にもお願い
できない時もお受けできな
いこともあります。以
前とは違い、1人で解決しよ
うとせず周囲に頼れるよう
になりました。娘たちにとつ
ても、両親以外の大人と接す
るのは良い経験になっている
ようです。それに、3歳の長女
もとっても力になってくれま
す。次女をあやしてくれたり、
私がお皿を割ってしまった時
なんて、「ママ、大丈夫だよ！」
と励ましてくれたんですよ。
かつては「孤育て」でしたが、
今は家族や友人みんなで子育
てをしている心強さがあつて、
失敗も笑いに変えられるよう
になりました。

あと、ママになって気づい
たのは、パパの家事・育児参
加がまだまだ難しい社会なん
だなということ。私がた
まに遅い時間まで働いている
と「お子さんは大丈夫？」と
声をかけていただくのですが、
男性の多くは子育て中でも当

然のように遅くまで働いてい
る…。少しずつでもパパも子
育てしやすい社会にしていけ
ると良いなと思います。出
産・育児って、本当に計画通
りにいかないことだらけなん
ですけれど、多くの発見があ
ります。一人目を生んで初め
てわかること、二人目を生ん
でようやく見える世界。予測
のつかない日々は大変だけど、
大切なのは「こうしてほしい」
という思いを共有しながら、
ベストな方法をみんなで探し
続けることだと思います。こ
れからも夫や娘たちと協力し、
いつも笑っているたくましい
お母さんになりたいです。

